

観光・環境・暮らし

500周年を迎える天下の奇祭「裸祭り」



西大寺会陽500周年
記念事業の支援について

問 会陽500周年の記念イベントを実施するなど盛り上げていくべきでは。

答 毎年、地元関係団体等が、2月初旬から3月初旬にかけて、「さいだいじ冬フェスティバル」と題し、会陽、冬花火、西大寺ファンタジーなどの各種イベントを実施している。

市としては、こうした取り組みを側面から支援するとともに、会陽開催時の安全対策、広報宣伝なども支援している。今回は500周年という記念すべき年に当たるため、首都圏でのパンフレット設置や情報端末への掲載等、さまざまな機会、方法をとらえて情報発信に努めている。

下足守の産業廃棄物不法投棄

問 ①予算額2,700万円での行政代執行の内容は②現状回復に要する費用はいくらで誰が負担するのか。

答 ①今回の代執行は廃棄物を撤去するのではなく、廃棄物層へ染み込んだ雨水が汚染され、下流域へ流出する恐れがあることから、汚染水の有害物質を分解・吸着するための透過反応壁

を設置し、生活環境保全上の支障が生じないようにするものだ。

②全量撤去に要する費用は十数億円規模になると想定され、その費用は当然、不法投棄関与者が負担すべきものだ。

岡山市では、これまでと同様に関与者に廃棄物を全量撤去するよう求めている。

企業会計へ移行する下水道事業

問 下水道事業を特別会計から企業会計に移行することでどのような改善が図られるのか。

答 これまでは、現金収支にのみ着目した経理手法をとっていた。資産評価・管理や減価償却という考え方がなく、企業経営の面から見ると、状況分析・把握に限界があった。

企業会計移行により、経理を複式簿記で行い、新たに貸借対照表及び損益計算書を作成する。これらは経営成績や財政状況を明確に表すことができ、経営や管理に対する職員の意識向上が図られる。

起業・創業への支援

問 中小企業の起業・創業状況は。

答 厳しい経済状況のもと、創業者の育成は経済の活性化を図る上で重要な課題だ。本市では、市内で創業を考えている人等を対象に、融資相談の実施や、開業に関するノウハウを学ぶ創業セミナーを開催している。

また、平成9年からは、事業を始めるための基礎知識や事業計画の立て方を学ぶ、岡山市起業家塾を毎年開催している。受講者のうち18年度は6名、19年度は5名、20年度は4名が開業している。

てんぷら油回収目標

問 てんぷら油の家庭からの回収目標は達成されているのか。

答 平成21年度の回収目標は、140キロリットルであり、11月までの回収量は、約75.5キロリットルだ。この状況で推移すると、21年度の回収量は110キロリットル程度で目標の80%程度となる。

まだ周知不足もあり、今後積極的な啓発を行い、回収量のアップを図りたい。



使用済み油を再利用するエコ社会へ